

第6回入所・地域移行WT（1/13開催）における委員からの御意見への対応状況

意見・要望要旨	対応
<p>障害者支援施設の定員は減らさないで欲しい。待機者は、もっと多い。</p> <p>【本部会（1/22開催）での意見】</p> <p>総合支援協議会等の意見を聴きながら困っている人の実態把握に努めるのは結構だが、入所できずに困っている人に対して調整する、県の中での機能やリーダーシップをとっていくべきはないか。</p> <p>以上の理由から、P28頁の⑦に「実情把握に努めるとともに、調整する仕組みづくりを検討する。」を記入して欲しい。</p>	<p>本文修正（P28）</p> <p>なお、今後とも、待機者や高齢化の状況について、千葉県総合支援協議会や市町村等の意見を聴きながら地域の実態把握に努めるとともに、地域での生活を継続することが困難となった場合に、障害者支援施設等が利用できるよう、情報の提供や体制づくりについて、関係者の理解を得ながら検討します。</p>
<p>P97頁の指標だが、医師や看護師の目標はあるが、社会福祉士等の目標がない。社会福祉協議会で行っている「介護福祉士等修学資金貸付制度」を数値目標に追加したらどうか。</p>	<p>現在社会福祉協議会で行っている修学資金貸付制度については、平成24年度から平成28年度までの5年間の補助となっており、障害者計画期間の29年度までの目標値が決定していないため数値目標として相応しくないため、福祉・介護人材確保対策事業の事業数を数値目標とした。</p> <p>※数値目標修正 →計画推進の中で、必要に応じて追加等を検討したい。</p>
<p>権利擁護専門部会の担当分野となるが、フォーラム等の出席者の意見、障害者に対する差別や偏見の部分、学校現場での教育などをしっかりと意見が多数あった。福祉教育について触れられているが、もう少し丁寧をお願いしたい。</p> <p>社会福祉協議会で、行っている福祉教育推進校を小・中・高と指定をしているので、目標として載せて、県として取り組んでいることを県民に分かっていただけたらと思う。</p>	<p>本文修正予定（P49） （本部会3/10報告）</p> <p>【Ⅰ現状・課題】に状況を追記。</p> <p>また、【Ⅱ取組みの方向性】に</p> <p>③ 福祉教育への取組等を進める学校を福祉教育推進校として指定し、その活動を支援します。その際、福祉教育をより効果的に推進するため、同じ地区の福祉教育推進校と県社会福祉協議会が指定する福祉教育推進団体が連携・協働する「パッケージ指定」により、地域の社会資源や人材を活用した福祉教育プログラムの協議・連携・企画・実践を行い、福祉教育を推進します。</p> <p>④ 障害のある人への理解が得られるよう、学校関係者の会議の場での広報活動を通し、教育関係者との連携に努めていきます。障害者条例の立場から障害のある人のニーズに沿った支援を目指し、差別のない千葉県づくりを推進していきます。</p> <p>追記予定。</p>